

令和元年度 第13回石岡市ふるさと再生会議 会議録

1 会議の名称

令和元年度 第13回石岡市ふるさと再生会議

2 開催日時

令和2年2月17日（月）午後2時～

3 開催場所

石岡市役所 市本庁舎2階 201会議室

4 出席者 10名

5 議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

1) 「まち・ひと・しごと創生石岡市人口ビジョン」(案),

「第2期 まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」(案)について

【会長】 事務局より資料1（「まち・ひと・しごと創生石岡市人口ビジョン」(案)）の説明をお願いします。

【事務局】 資料1説明

【会長】 ご意見、ご質問あればお願いします。

<意見なし>

【会長】 それでは人口ビジョンについては案の通りとしたいと思う。

次に事務局より資料2（「第2期 まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」(案)）の説明をお願いします。

【事務局】 資料2説明

【会長】 まず「基本目標1 市の強みを活かした安定した雇用の創出」・「基本目標2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる」についてご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】 P.10-2)-②通勤・通学に対する支援について、土浦までの朝夕におけるバスを増便し利便性を高めるべき。また、高速バスの無料駐車場の存在をもっと周知した方が良いのではないか。

【委員】 P11-2)-④空き家の利活用について、移住希望者が移住しやすい仕組みにすべきではないか。

- 【会長】 (空き家対策に関しては) ワンストップ窓口が必要ということだろう。全国の成功事例も窓口を設置している事例が多い。
- 【委員】 P.7-3)-②空き店舗の活用促進について、空き家を活用して起業したい人を支援する仕組みも必要なのではないか。
- 【会長】 空き家・空き店舗などの活用についてコーディネートするワンストップのスキームが必要ということだろう。
- 【委員】 P.10-2)-①東京圏との交流と関係性の深化に記載のある各種イベントについては、より石岡市らしさが欲しい。また、駅前については、(多世代交流施設よりも) 商業活性化を前面に打ち出したほうが良い。
- 【委員】 P.5 の(基本目標 1 市の強みを活かした安定した雇用の創出に対する数値目標である) 有効求人倍率は厳しい目標であるが意義があると思う。P.6-1)-②就職しやすい環境づくりについても、意義のある取り組みだと思う。
- 【委員】 P.7-3)-①まちづくりの担い手の育成の KPI であるサマーフェスタは石岡商工会青年部で実施しているが、市民の方にも企画の段階から参画してもらいたい。
- 【会長】 どのように募集していくなどの案はあるのか。
- 【委員】 今は検討段階にある。
- 【委員】 P.7-2)②耕既存農(林)業者の経営環境改善の KPI である耕作放棄地について前回述べたところだが、目標案としてはよいと思う。また P.7-3)-②空き店舗の活用促進についてだが、来客を促すため空き店舗の活用促進だけでなく、駐車場の整備も併せて必要なのではないか。
- 【副会長】 P.9-1)-②観光情報発信事業については、台湾にだけ捉われるのではなく、様々な地域にトライしてほしい。
- 【会長】 P.10-2)-①東京圏との交流と関係性の深化に記載のスポーツ、農業(田舎体験)等については、ツーリズムという観点で考えてもいいのではないか。P.9-1)-②観光情報発信事業については、前回台湾という話をしたが、TMO(タウン・マネジメント機関)や DMO(観光地域づくりを推進する法人)などのような実行部隊を組成し、取り組みを広げていくべきだろう。
- 【委員】 P.11-2)-④空家の利活用に記載のある空家バンクはやはり上手く機能していないように感じる。ワンストップ窓口や実行部隊など考えてほしい。
- 【会長】 次に P.12-20(「基本目標 3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」「基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る」)の内容についてご意見を願います。
- 【委員】 P.13-1)-①出会いの場の提供が挙げられているが、結婚相談所の相談員の入れ替えも必要なのではないか。
- 【会長】 今の若年層はマッチングアプリを使っている。出会いのツールが変化した

ことを認識する必要があるのではないか。

- 【委員】 知り合いが様々な支援を受けているが結婚できていない。難しい問題だ。
- 【会長】 行政は機会の提供しかできない。最新のアプリ・事例を紹介する事例集があればいいだろう。
- 【委員】 P.13-1)-②結婚後住みよい環境づくりの KPI である新婚世帯家賃助成件数について、従前（現行の総合戦略）の 300 件から 700 件となった理由を伺いたい。
- 【事務局】 次期戦略期間中（5 年間）の新規申請の目標数が 400 件、また今年度までに申請済みの継続件数が 2 百数十件あることから本 KPI としている。
- 【委員】 P.17-2)ふるさと愛の醸成に関連して。“イシオカイイネ”という冊子を地域おこし協力隊で作成しているようだが、各戸 1 部ずつ配布してもよいのではないか。また、P.18-3)-①地域コミュニティ（自治会等）の活性化についてであるが、高浜地区は小学校の廃校が予定されており、コミュニティへの悪影響・地域の衰退が心配。
- 【会長】 （小学校が廃校になると）間違いなくコミュニティは弱体化するだろう。一方、極度に児童が少人数であると複式学級になるなどして、児童の教育環境として良いとは言い難くなる。小学校の再編によって地区の学校が廃校になった場合、コミュニティの維持のため KPI を注視していくべきだろう。また“イシオカイイネ”の冊子についての配布状況はどうか。
- 【事務局】 まだ、世帯別に配布するには至ってない。
- 【会長】 記者クラブやテレビ・放送局などに配る他、駅に置くのも良いだろう。また市報に載せることも検討できるだろう。
- 【委員】 P.12-3)子育て支援の充実について、乳幼児から高齢者まで多世代が利用できる施設がほしい。
- 【委員】 （先ほど廃校の話が出ていたが、）不登校児の居場所づくりに廃校が利用できないだろうか。P.15-4)①特色のある教育の充実とあるが、選択の幅のある教育は魅力的である。また、地域コミュニティの活性化や防災設備としての活用も考えられるだろう。
- 【委員】 P.14-3)-②保育環境の充実にある放課後児童対策事業、③地域における子育て環境の充実にある子育て支援センター運営事業についてはどのようなことを実施しているのか？また、①子育て費用の軽減については、城里町や大子町は給食費がかからないと聞いたので、同様の取組は出来ないか。
- 【事務局】 放課後児童対策事業とは学童クラブや放課後子供教室などのことを指している。
- また、子育て支援センターについては未就学児とその親に対する支援を実施している。

【会長】 給食費支援については、他市町村と競争にならないように慎重に考えるべき内容だ。

【委員】 P.14-2)-②について、「くるみん認定企業」の他にもワークライフバランスに関して併せて検討してもらえればと思う。

【会長】 本日いただいた意見に関する事務局とのとりまとめについては会長一任でよいか。

<異議なし>

(4) 閉会

以上